

序 章	モダニティとしてのナショナル・アイデンティティ	011
一	ナショナル・アイデンティティと文学	011
二	「ハイブリディティ」の時代——ワシントン・アーヴィングと「日本近代文学」	014
三	「漱石」という問題系	023

## 第一部

第1章	漱石の文明観	033
一	発展至上主義的近代主義	034
二	擬似植民地的恐怖	041
三	「誇り」への欲望	046
四	オリエンタリズムとナショナリズムの共謀	052
五	「欠如」としての西洋	057
第2章	漱石の個人主義——「現代日本の開化」と「私の個人主義」	066
一	近代的強者主義	066
二	ナショナルな「自己本位」	072
三	国家主義容認と不平等の思想	075

四	西洋の自由・東洋の秩序	080
五	秩序とナショナリティ	084
六	国民化する個人	088
七	「則天去私」の秩序	092

## 第3章 二つの「田舎」——『草枕』と『坊っちゃん』

一	「反西洋」の言説	097
二	「田舎」の発見	103
三	文明批判の矛盾	107
四	差別される「田舎」	113
五	野蠻と強者主義	118
六	「国民」の条件	124

## 第4章 漱石と帝国主義

一	続く漱石神話	129
二	模倣する言説	132
三	帝国主義と「開拓」	141
四	風景としてのアジア	146
五	戦争観とナショナリズム	152

第5章 個人主義の行方——『それから』と『門』—— 157

- 一 代助とジェンダー……………157
- 二 共同体の言葉・〈個〉の誕生……………163
- 三 懐疑の行方……………171
- 四 「近代家族」の失敗……………178
- 五 秩序志向と断罪……………185

第6章 女の不貞と国家——『行人』—— 195

- 一 「女」という他者……………195
- 二 教育と支配……………202
- 三 「士人」の交わり……………205
- 四 「塵勞」と沼波武夫著『始めて確信し得たる全実在』……………207

第7章 個人主義の破綻——『こゝろ』—— 219

- 一 「現代」批判としての「明治」……………219
- 二 「男性」共同体の「精神」……………222
- 三 「私」——「新しい命」への幻想……………225
- 四 反生命主義・反西洋主義……………227
- 五 さまざまな言説……………230

六 「文豪」誕生……………235

第8章 「国家」の言葉——森鷗外『舞姫』—— 241

- 一 エリスの条件……………241
- 二 「趣味」と教育……………244
- 三 男の仕事・女の愛……………248
- 四 「故郷」という呪縛……………252
- 五 「国医」鷗外……………255

第二部

第9章 明治言説の犠牲者たち——「親日」者と学徒兵たちの死にいたる思想—— 261

- 一 「秩序」としての日本……………263
- 二 悲しい「親日」文学——徐廷柱の場合……………268
- 三 「個」の放棄・「公」の浸透……………271
- 四 忠孝観の転倒……………274
- 五 植民地の欲望とジェンダー……………279
- 六 『わだつみのこえ』の戦争と死（詩）の思想……………285

第10章 共謀する表象1——柳宗悦と解放後韓国の自己構築—— 289

- 一 「愛」の主体と植民地…………… 289
- 二 〈欠如〉の記号…………… 293
- 三 「芸術」の政治学…………… 296
- 四 「誇り」と支配…………… 298
- 五 他者の像…………… 302

第11章 共謀する表象2——「在日文学」をめぐる期待と応答—— 309

- 一 「在日」朝鮮人の可視化と記憶の再編…………… 310
- 二 李恢成に見る「在日文学」の居場所…………… 315
- 三 小説とジェンダー…………… 318
- 四 「民族」の娘…………… 324

第12章 共謀する表象3——開高健・小松左京・梁石日の「アパッチ」小説をめぐる—— 330

- 一 「アパッチ族」と在日朝鮮人…………… 331
- 二 忘却と断絶——開高健『日本三文オペラ』…………… 334
- 三 記憶と恐怖——小松左京『日本アパッチ族』…………… 342
- 四 共謀する表象——梁石日『夜を賭けて』…………… 346

第13章 暴力としてのナショナル・アイデンティティ——金鶴泳の死をめぐる—— 355

- 一 ナショナル・アイデンティティの強制…………… 356
- 二 「沈黙」——匿名性の暴力…………… 363
- 三 「在日」という場所…………… 369
- 四 「生きられる」条件…………… 372
- 五 「朝鮮人」作家・金鶴泳…………… 376

終章 近代を超えて—— 382

- 一 漱石テキストにおける恐怖の近代性…………… 382
- 二 「国民作家」の条件——江藤淳と漱石…………… 386
- 三 江藤淳と現代日本…………… 392
- 四 近代国民国家の矛盾…………… 395
- 五 アイデンティティ・ポリティックスを超えて…………… 397

註…………… 400

あとがき…………… 446

初出一覧…………… 450

人名索引…………… 452